

1

すべての働く仲間を 「まもる」取り組み

〔1〕 仲間を増やす取り組み

2025年度補強方針

① 第8次組織拡大中期計画の実践

2024年度に実施した「仲間づくりトップ宣言」について各組織の実効性を確認し、連合愛知全体の更なる取り組み強化につなげる。また、経営者層や各種団体等と関係性をより強固にして、労働組合に対する理解促進に努める。

② 労働相談センターの取り組み

年々増えている労働相談には丁寧に寄り添うことはもちろん、課題の根本解決につながる様、労働組合の結成等についてホームページ等も活用しわかりやすく発信していく。

① 第8次組織拡大中期計画の実践

すべての働く仲間をまもるため、「健全な集团的労使関係の構築」を目指した組合結成の気運を高めていく。具体的な活動は、「第8次組織拡大中期計画」に対する単年度の推進計画を策定し、PDCAサイクルを回しながら実践する。「構成組織」「連合愛知」「地協」は連携・協力し、それぞれの役割を果たす。

現状の取り組みを大きく前進させるため、「仲間づくり推進室」を設置し、推進体制を強化する。

※仲間づくり目標

2024年度（Brisk 期間 2 年目）	8,500名以上
2025年度（Best 期間）	8,500名以上

② 労働相談センターの取り組み

「悩んでいる、困っている」労働者の相談に寄り添い、働く者の課題を吸い上げていく。相談の中で労働組合を立ち上げることが有効な案件については面談に繋げ、解決の手法として継続・実施していく。

また、年3回の「全国一斉集中労働相談ホットライン」は本部の取り組みに連動し取り組んでいく。

愛知県の外国人労働者からの相談については、外国人労働者がわかりやすく頼りやすい体制を検討していく。

〔2〕 仲間との連携

2025年度補強方針

① 構成組織との連携

2024年度の活動で見えてきた課題解決に向け構成組織を訪問し、意見交換を行いながら取り組みにおける理解促進に努める。

② 地協体制・活動の強化

地域の活性化や課題の解決に向け、全地協において新たな「地域に根ざした顔の見える運動」を実践する。

③ 労働運動を担う人材の育成

（次世代リーダーの育成）

（新任組合役員向けセミナーの提供）

（政策実現塾の開催）

2024年度の活動を振り返りブラッシュアップする。また、学んだことを活かし連合愛知や構成組織で活躍できる人材育成を行う。

① 構成組織との連携

構成組織との双方向コミュニケーションの促進に努めるため、きめ細やかな訪問活動や意見交換を行い各種活動への理解をはかる。執行委員非選出構成組織については、担当局長を継続配置して連携を強化していく。

② 地協体制・活動の強化

「地域に根ざした顔の見える運動」として、本部方針に掲げる⑦連合組織内の連携を強化するための活動、⑧地域で働くすべての仲間を支えるための活動、⑨各地域の特色を生かした活動を推進する。また、地協活動の活性化に向けて、「地協代表者会議」「地協三役意見交換会」などを実施する。

市町村社会福祉協議会との防災・ボランティア活動などに関する連携を進めるとともに、商工会と全地協との連携がはかれるように取り組む。

地協活動の推進体制強化に向けて、地協規模を踏まえた専従者の配置について検討を進める。

③ 労働運動を担う人材の育成

(次世代リーダーの育成)

CNG委員会を通じて、男女平等参画社会の実現および次世代リーダーの育成をはかる。若年層の組合員が、取り巻く諸課題について主体的に考え行動し、労働運動をけん引する力を身につけることができる活動に取り組む。

(新任組合役員向けセミナーの提供)

組合役員として労使交渉に必要な基礎知識を学ぶ場としてセミナーを提供する。

(政策実現塾の開催)

政治活動を強力に推進できる組合役員の育成に向けて、構成組織の政治担当三役などリーダーを対象とした「政策実現塾」を開講する。また、地協に対し、労働組合が政治に取り組む意義や各種取り組みについて理解をはかるための研修用ツールを提供する。

④ 東海ブロックとの連携

連合東海ブロック連絡会の代表幹事県として、連合中央執行委員会などに出席し意見反映に努めるとともに、連合の重要課題を地方から推進するため、東海ブロック内での連携をはかる。